
Last snow 外伝

黒雪

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Last snow 外伝

【Nコード】

N4555D

【作者名】

黒雪

【あらすじ】

Last snowの天尋くんがふざけまくり！二人の妹にレツッ
いたずら！？

アナザーストーリー

第二章　：無の感情：

限りなく、深い闇。

そこには、光は無く、
音が生まれる事も無い。

ただ、静寂と絶望のみが
支配していた。

そして俺もまた、

そこにいた……

不思議と、怖いといった
感情が生まれて来ること

は無く、歩き回ろうと　　いう考えさえ浮かばない。ただひたすらに
闇を見つめていた。

|||||

「あれは一体……」　　俺は、今日の朝見た夢を　思い出しながら、目的の　場所へと足を進めていた　そして、不意に背後が
気になり一旦足を止め、　後ろを振り返った。　「……………」

「　しかし、そこに何がある　訳でもなかった。」

（そして）　「……………フム。」　　目的の、とあ

る会社に　到着した。会社と言って　も、大分前に倒産して、
今はただの空きビルに　なっている。そのビルを　本拠地とした
ある暴力団　のような集団があるのだ　が、実を言うと俺もその
うちの一人だ。まあ、俺　の場合、他人に迷惑を　かけたいとか、
この世界　がキライだからめっちゃ　くちゃにしてやろう。と
かではなく、ただの暇　潰し程度だ。秋葉が学校　から帰ってくる
までの、　暇潰し……………　不意に、また後ろに気配　を
感じた。今度は振り返　らずに一言発した。　「まさか、俺が気
付いて　無いとでも思っている、　という訳ではないだろ？」　二

ないだろう。

「さあな、詳しくは 実際には赤峰さんに聞け。」

「・・・分かりました。」 また無感情な声が響く。 そして俺は、

そのまま 建物の奥へと進んだ・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4555d/>

Last snow 外伝

2010年11月5日07時39分発行